**JICA 中小企業・SDGs ビジネス支援事業**
**—「日本式介護学校と介護センターの一体運営モデルの**
**普及・実証・ビジネス化事業」成果報告会を開催—**

2025 年 11 月 6 日
国際協力機構（JICA）ベトナム事務所

JICA が株式会社エスポワール及びバックマイ病院傘下のバックマイ医療短期大学と共同で実施している「日本式介護学校と介護センターの一体運営モデルの普及・実証・ビジネス化事業」（以下「本事業」）の成果報告会が、2025 年 11 月 6 日に開催されました。本報告会は、事業の振り返りおよび関係者間で経験と学びを共有することを目的に実施されました。当日は、在ベトナム日本国大使館、ベトナム保健省人口局、バックマイ病院、バックマイ医療短期大学、JICA の関係者約 40 名が参加し、本事業で実施された日本の介護様式に関する研修、介護実習室の活用、訪日研修、そして e-ラーニング導入による教育活動について報告されました。

JICA のベトナムに対する協力において、保健・医療分野は最重要分野の一つです。
本事業は株式会社エスポワール（長野県小諸市、甘利庸子代表取締役社長）から提案があり、JICA の「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」の枠組みを通じて開発途上国の社会的・経済的課題解決を目指す取り組みで、2024 年から 2026 年の期間で実施されています。

本事業では、急速に高齢化が進むベトナムで介護職の社会的認知と普及を図るため、「日本式介護人材育成と介護センターの一体運営モデル」の有効性及び優位性を検証し、ベトナムでの普及方法と課題を整理することを目的としています。具体的には、持続可能な介護教育のための教材案を提案し、日本式自立支援介護の人材育成に必要な介護資機材を備えた実習室を整備しました。これにより座学と実習の両方が可能な教育環境を創り、将来の介護現場で活躍できる人材の育成を目指すものです。
本事業ではベトナム国内での研修に加えて訪日研修も実施しており、2025 年 5 月に行われた訪日研修ではベトナム保健省人口局、バックマイ病院、バックマイ医療短期大学から計 5 名が参加しました。研修では日本の介護福祉制度やエスポワール社が運営する介護施設サービスについて、詳細に触れる機会となりました。

本事業を通じて、日本側の関係機関及び日本と長年にわたり重要なパートナー関係を築いてきたバックマイ病院をはじめとするベトナム側関係機関が協力することで、ベトナムの高齢化社会で活躍する介護士の育成や、介護士という職業の理解促進、普及につながることを期待しています。
JICA は、今後も関係機関との信頼関係を一層深めながら、ベトナムの保健・医療分野への協力

を継続します。

---

お問い合わせ: JICA ベトナム事務所 広報班 関 里緒菜

Tel: (+84-24) 3831 5005（内線 125）E-mail: Seki-Riona@jica.go.jp